

幸田町地球温暖化対策実行計画（第4次計画）の進捗状況

1 実行計画概要

- (1) 根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項
- (2) 計画期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
- (3) 対象範囲 町が行う全ての事務事業。ただし、指定管理者制度施設を除く外部に委託する事務事業及び社会福祉協議会等の法人・公社の事務事業は、削減目標非設定とする。
- (4) 削減目標 令和10年度までに温室効果ガス排出量44.0%削減（平成25年度比）



2 令和7年度実施状況

幸田町では、平成21年度から5か年計画として幸田町地球温暖化対策実行計画を策定しています。平成26年度～30年度に第2次計画、令和元年度～令和5年度を第3次計画として策定し、令和6年度より第4次計画を実行しているところです。また、第3次計画から、削減対象とする温室効果ガスを二酸化炭素だけでなく、メタンと一酸化二窒素を加えた3種類としています。

令和7年度の温室効果ガス排出量は4,482t-CO₂となり、第4次計画の削減目標においては、基準年度である平成25年度比44%削減値の3,301t-CO₂を目指しています。

要因別構成比からもわかるように、電気、重油、LPガスが大きく割合を占めています。令和10年度の目標数値である3,301t-CO₂を達成するためには、公共施設への太陽光パネルの積極的な設置や、公用車の次世代自動車化が課題と考えています。今後も職員への省エネ推進や施設管理者への施設省エネ化のさらなる推進をしていきたいと思っています。

				基準年度					
温室効果ガス排出量				平成25年度	目標数値（令和10年度）		令和7年度		要因別 構成比
合 計（t-CO ₂ ） （対H25年度比）				5,876 （ 100.0 % ）	3,301 （ 56.2 % ）		4,482 （ 76.3 % ）		
排出要因別内訳						H25年度比		H25年度比	
二 酸 化 炭 素	電 気	使 用 量	kwh	9,279,538.9	6,667,844.5	54.5%	7,120,471.7	85.6%	66.1%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	3,461.3	1,887.0		2,962.1		
	A 重 油	使 用 量	ℓ	268,888.6	176,363.6	66.6%	244,800.0	92.4%	15.0%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	728.7	485.0		673.2		
	LP ガ ス	使 用 量	kg	82,691.8	73,578.6	88.7%	92,144.0	111.1%	6.1%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	248.1	220.0		275.5		
	都 市 ガ ス	使 用 量	kg	252,282.5	-	-	-	※R5.12以 降は、CN都 市ガス導入に より Ot - CO2	-
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	562.6	-		-		
	ガ ソ リ ン	使 用 量	ℓ	46,189.7	33,624.5	71.9%	35,205.9	75.2%	1.8%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	107.2	77.0		80.6		
	軽 油	使 用 量	ℓ	51,918.9	34,351.1	67.2%	38,573.8	75.4%	2.3%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	134.0	90.0		101.1		
	灯 油	使 用 量	ℓ	46,802.0	31,200.0	67.0%	36,194.9	77.7%	2.0%
		温室効果ガス排出量	t-CO ₂	116.5	78.0		90.5		
メ タ ン	温室効果ガス排出量		kg-CH ₄	8,720.0	8,720.0	77.1%	5,840.0	67.0%	3.3%
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）		t-CO ₂	218	168		146.0		
一 酸 化 二 窒 素	温室効果ガス排出量		kg-N ₂ O	1,005.4	1,005.4	98.8%	512.1	50.9%	3.4%
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）		t-CO ₂	300	296		152.6		